



ご当地 歯医者さん 茨城

No.616

茨城県歯科医師会

Ibaraki Dental Association

November

2020

令和2年

11

茨

歯

会

報



Contents

デンタルアイ	1
柴岡 永子	
会務	3
理事会報告	6
会務日誌	7
学校歯科委員会だより	9
医療管理委員会だより	11
専門学校だより	13
ピンクのエプロン	14
寺門 由香	

表紙写真について

令和2年度「歯と口の健康に関するポスター」小学生の部 知事賞 奥澤夏士さんの作品

コロナ禍に学ぶ新たな「絆」のかたち



理事
柴 岡 永 子

会員の皆様におかれましては、平素より茨歯会報をはじめ広報活動にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。今年の茨歯会報は新型コロナウイルス感染症の影響により様々な学会、講習会、ソフトボール大会などが中止になり、会員の先生方のご活躍をお伝えする恒例の記事を載せることもできず、誠に残念でございました。またコロナ禍の大変な時期にも拘わらず、多くの先生方にご執筆をお寄せいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後withコロナとして、新しい生活様式を踏まえた活動が再開され、そのご活躍の様子について会報を通しご報告させて頂けることを楽しみに致しております。昨今、多発する自然災害そして感染症など、少し前までは考えることさえしなかった大規模複合災害が発生しております。今回はそれに対する人と人とのつながり「絆」について色々な観点から考えてみたいと存じます。

さて自然災害などで大きな効果を発揮する「絆」についてです。1999年9月に東海村のJCO臨界事故では周辺の約30万人が屋内退避となり、放射性物質による影響についての情報が錯綜し、目に見えない恐怖や風評被害も体験しました。さらに2011年3月11日発生の未曾有の

大地震でライフラインが止まり、経験したことのない恐怖と不安の中で過ごした東日本大震災、テレビなどが復活するや否や映し出された福島第一原発の水蒸気爆発、最先端科学の恒久的なクリーンエネルギーとしての原子力利用は夢の終演と報道されていました。しかし自然災害の復興は予測を超えたスピードで進み、人と人を繋ぐ「絆」を合言葉に被災地を支援する繋がりの方が効力を発揮し劇的な回復を実現しております。

あれから10年、「絆」で結束してきた私たちは、スペイン風邪以来の猛威といわれる新型コロナウイルスの感染拡大により「分断」を余儀なくされています。今、「ヒト」は離され寄り添うことを許されず、所謂「人」になれない状況です。しかしながら引き裂かれるほど、お互いに何とか寄り合おうとして発生する磁場のようなエネルギーが計り知れない変化を生んでいると思います。今回のパンデミックによって私たち人類は世界中が等しく同じ問題を共有することになりました。そして時差、国境を越え、先進国、発展途上国などの枠組みを超えて地球規模で共有することを実現させてくれたのがインターネット、ITです。いつもはXmasカードで消息を確認しあう程度の海外に住む友人達と、時差や物理的な距離を越えて一日に何回も情報

交換し、励まし合うことができました。こんなに離れていても同じ環境、同じ意識文化を生きている、彼らと再び共に同じ地球に生きている「共存・共生」という感覚を味わえるとは予想もしませんでした。ワクチンの開発や治療法の確立も暗中模索の中、3密を避け、ソーシャルディスタンス、ステイホームなどの必要最低限の防御を実践することで、築いてきた「絆」が希薄になったような寂しさを感じておりましたが、そうではありませんでした。私たちの周りには知らず知らずに基盤としてITが浸透しており、新しい生活様式、働き方改革という形でこのITインフラが穴埋めをしようとしています。東日本大震災の様な天変地異による物理的な破壊に対応するためには人と人のつながり「絆」が有効でしたが、今回の目に見えないウイルスとの闘いに必要とされたのは個と個が孤立する「分断」です。しかし一見真逆に見えるこの環境下でも変わらないものは、危機に直面した際、私たちは謙虚になるということ、そしてあらゆる叡智を使い、生み出された「変化」への順応力だと思います。必要に迫られ定着したテレワークやオンライン会議、熱中症対策に不可欠なエアコンをかけながらの換気など、まるでアクセルとブレーキを一緒に踏むようなタブーをもなぞ倒すほどの逞しさと慎ましさが同時に求められている様にも思えます。

広報委員会では毎月の茨歯会報発行、「いい歯の日」PR事業への協力等に加えて、自然災害も多かったこの10年を振り返り久しぶりの広報座談会を10月開きました。

この中で会員のIT化を図るため、登録率を上げる努力をすべきとの意見がございました。担当歴が浅く詳細は分かりませんが、現在ペーパー（紙媒体）で発刊しております茨歯会報もペー

パーレス化の検討が様々あったように聞いております。私のなかでは「本の手触りや重さ」が好きて、現在の会員向けにはペーパーとネット配信、県民向けには一部編集を加えてのネット配信の両立にて納得しております。また茨城県歯科医師会の長い歴史と貴重な活動記録である過去の茨歯会報をデジタル化し保存に努めております。近くデジタル庁が創設されるようです。まさに高度にシステム化された管理法とIT機器が基盤となっていく現実に対応しなくてはなりません。まず未登録の会員の皆様には是非ともIT登録をお願いしなければならないと思います。

今年の1月、新型コロナウイルスが中国で爆発的に拡大していた頃、このような世界的大惨事になると誰が予想したでしょうか。新年会で会長のご挨拶にもございましたが、昔の逸話で干支のネズミがピンチをチャンスに変え、逆転の発想で勝利を収めたお話です。これから迎える新しいステージ、withコロナからafterコロナを生き抜くためには正にこの発想が重要なのではと考えます。ユビキタス健康医療などを中心とした「ITを共通基礎にした医療」の構想に歯科医療はどのように関与していくのでしょうか。ここが正念場ではないのでしょうか。感染予防と社会経済活動が両立するこれまで見聞きしたことのない社会構造にしっかり対処していくため、会員全体が同じコンテンツを共有しながら、地域社会そして県民の皆様と新たな絆で結ばれ、信頼関係を構築していくことが必要だと思います。

来年は日本人とは古代から生活と一緒にしてきたウシの年です。そこで丑年生まれの方先生方におかれましては、是非とも茨歯会報1月号恒例の「年男と年女」への明るいご寄稿を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

会務

令和2年度歯のポスター優秀作品決まる

令和2年度「歯と口の健康に関するポスターコンクール」第2次審査会が9月16日（水）午後2時から茨歯会館において開催された。

今年は、新型コロナウイルスの影響により応募数が例年に比べ減少したものの小学校244点、中学校31点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり決定した。

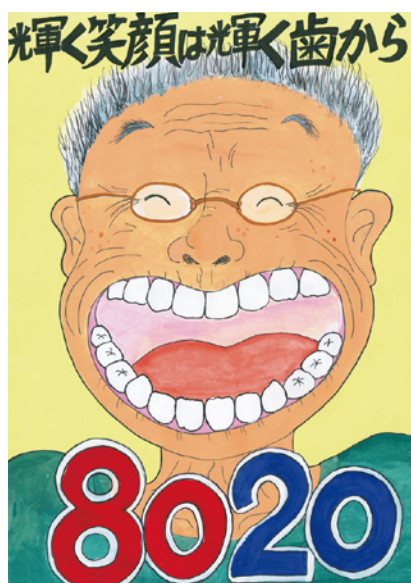
小 学 校 の 部



知事賞 奥澤 夏士
結城市立結城小学校6年



教育長賞 谷島 あかり
筑西市立竹島小学校3年



歯科医師会長賞 今泉 佑惟
水戸市立梅が丘小学校6年

中 学 校 の 部



知事賞 田崎 愛依
桜川市立桃山学園 7 年



教育長賞 高柳 志帆
鹿嶋市立大野中学校 2 年



歯科医師会長賞 北澤 風花
筑西市立下館南中学校 1 年

令和2年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール入賞者名簿

小学校の部

賞 名	氏 名	学年	学 校 名
知 事 賞	奥 澤 夏 士	6 年	結城市立結城小学校
教 育 長 賞	谷 島 あかり	3 年	筑西市立竹島小学校
歯科医師会長賞	今 泉 佑 惟	6 年	水戸市立梅が丘小学校
優 秀	五味 渕 葵	6 年	ひたちなか市立津田小学校
	新 海 奏	6 年	取手市立取手西小学校
	小 林 優 月	3 年	取手市立白山小学校
	鈴 木 隆 介	3 年	桜川市立谷貝小学校
	飯 田 康 平	3 年	茨城県立石岡特別支援学校
佳 作	會 澤 菜 南	6 年	水戸市立三の丸小学校
	白 石 修 真	6 年	ひたちなか市立市毛小学校
	高 橋 晟 矢	3 年	稲敷市立高田小学校
	大 澤 なごみ	3 年	つくばみらい市立伊奈小学校
	田 邊 一 平	3 年	つくばみらい市立伊奈東小学校
	阿 部 菜 央	3 年	結城市立結城西小学校
	森 谷 月 奈	6 年	筑西市立川島小学校
	高 橋 結 星	3 年	境町立森戸小学校
	内 田 いとは	3 年	坂東市立長須小学校
	飯 田 結 衣	6 年	茨城県立伊奈特別支援学校

中学校の部

賞 名	氏 名	学年	学 校 名
知 事 賞	田 崎 愛 依	7 年	桜川市立桃山学園
教 育 長 賞	高 柳 志 帆	2 年	鹿嶋市立大野中学校
歯科医師会長賞	北 澤 風 花	1 年	筑西市立下館南中学校
優 秀	奥 沢 久 瑠 実	2 年	結城市立結城東中学校
	飯 岡 莉 々	2 年	八千代町立八千代第一中学校
	山 崎 陽 有	1 年	茨城県立北茨城特別支援学校
佳 作	澤 畑 俊 佑	1 年	水戸市立第三中学校
	海老原 瑠 依	2 年	大洗町立南中学校
	大 森 駿 風	2 年	常陸太田市立世矢中学校
	チャルキ ニルプダイ	1 年	潮来市立日の出中学校
	湯 本 悠 斗	1 年	茨城県立結城特別支援学校

理事会報告

第6回理事会

日 時 令和2年9月10日（木）16時
場 所 茨城県歯科医師会館 会議室（Web会議）
報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払について

県西地区 1名 55日

県西地区（退会済） 1名 11日

(5) いばらきアマビエちゃんについて

(6) 水戸市医療福祉費支給制度（市単独事業分）への助成対象の拡大について

(7) 土浦市医療福祉費支給制度（市単独事業分）への公費負担者番号導入について

(8) 特別支援学校の歯科検診時のサポートについて

(9) 新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施歯科医療機関

みんなで安心マーク事業について

(10) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、社会保険委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

承認

(2) コロナ禍における講師謝礼の支払いについて

現行通りを基本とする

(3) 日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人の選出について

承認

(4) 令和2年度長寿祝い記念品贈呈候補者について

承認

(5) 令和2年度茨城県保健福祉部への要望事項について

承認

(6) 令和2年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業について

理事会で協議した内容を確認した

(7) スタッフセミナーについて

医療管理委員会に一任する

(8) 茨歯会忘年会・新年会について

ホテルの感染症対策を確認の上、三役で決定とする

(9) その他

○行事予定について

10月15日（木）16時から 第7回理事会

11月19日（木）16時から 第8回理事会

会務日誌

- 9月10日 歯と口の健康に関するポスターコンクールの第1次審査を実施。県内の小・中学校より集まったポスター275点に対して審査を行い、小学校60点の作品を第2次審査会に向けて選出した。
- なお、今回は新型コロナウイルスの影響により応募者数が減少したため、中学校の部は第1次審査は行わず、全31点を2次審査からの選考とした。
- 9月10日 保険医療機関を対象とした個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 4
- 9月10日 第6回理事会を開催。入会申込みの受理、コロナ禍における講師謝礼の支払い、日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人の選出、令和2年度長寿祝い記念品贈呈候補者、令和2年度茨城県保健福祉部への要望事項、令和2年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業、スタッフセミナー、茨歯会忘年会・新年会について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか18名
- 9月13日 日学歯「基礎研修・更新研修」がWEBによるサテライト受講形式で行われ、「学校歯科保健の概念」について日本学校歯科医会副会長の齋藤秀子が、「学校歯科保健における教育」について明海大学学長の安井利一先生がそれぞれ講演された。
- 出席者 鶴屋学校歯科部長ほか8名（基礎）、鶴屋部長ほか6名（更新）
- 9月15日 歯と口の健康に関するポスターコンクール第2次審査会を開催。県内小・中学校から応募のあった275点の中から第2次審査に残った小学校60点、中学校31点について審査を行った。
- 出席者 鶴屋学校歯科部長
- 9月17日 新規指定個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関 4
- 9月17日 第5回広報委員会を開催。会報399号以前のデータ化、広報座談会の質問事項検討・最終確認、会報10月号の編集・表紙写真の確認、会報11月号について協議を行った。
- 出席者 柴岡広報部長ほか8名
- 9月18日 四師会意見交換会が県医師会にて開催され、各師会より提出されたテーマについて意見交換が行われた。
- 出席者 森永会長ほか5名
- 9月24日 へき地医療支援計画策定会議がWEB会議として開催され、令和元年度及び令和2年度のへき地医療支援機構事業実施状況ほかについて協議が行われた。
- 出席者 今湊理事
- 9月26日 専門学校にて第3回体験入学を実施。歯科衛生士科15名、歯科技工士科4名の参加者に対して学校施設説明などを行った。
- 9月27日 北関東甲信越HIV感染者の歯科医療情報交換会がWEB開催され、3題の講演の後、HIV

感染者に対する歯科医療体制整備のための情報交換会が行われた。

出席者 村居常務

9月28日 第5回学術委員会をWEB会議として開催。シンポジウム、第29回茨城県歯科医学会の演題募集、事前抄録の校正、歯科医学会実行委員の人数、会場収容人数、がん医科歯科連携講習会（DVD講習会）の各地区開催について協議を行った。

出席者 今湊学術部長ほか8名

9月29日 第1回摂食嚥下研修会を開催し、食べるための構造とメカニズムについて研修を行った。
なお、今年度は新型コロナウイルスの影響により全3回の日程とし、回数縮小・受講人数の制限を設けての開催とした。

受講者 53名

9月30日 無料職業紹介有効期間許可証交付式が茨城労働局にて開催された。

出席者 須能

10月 1日 専門学校にて指定校推薦入試を実施。歯科衛生士科、歯科技工士科の受験者に対し、同日行われた合否決定委員会にて受験者全員を合格とした。

10月 1日 新規指定の個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 8

10月 2日 内外情勢調査会10月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

10月 3日 第1回茨城地域包括ケア学会が県メディカルセンターにて開催され、特別講演、シンポジウム、討論が行われた。

出席者 5名

10月 4日 歯科医療関係者感染症予防講習会を開催。今回は新型コロナウイルスの影響により、会場の人数制限を行い、講師の大阪労災病院歯科口腔外科部長の吉岡秀郎先生には会場ではなく、WEBによる講義を行っていただいた。

参加者 71名

10月 8日 関東地区歯科医師会会長会議がWEB会議として開催され、日歯会長予備選挙、次回関東地区歯科医師会会長会議の予定について協議が行われた。

出席者 （代理）黒澤副会長ほか1名（茨歯会館にて受信）

10月 8日 社会保険指導者研修会がWEB方式で開催される。今年度は新型コロナウイルスの影響により、YouTubeによるライブ配信形式での開催となり、『新型コロナウイルス感染症を知る』をテーマとした講演が配信された。

出席者 征矢副会長ほか11名

10月11日 専門学校にて歯科衛生士就職ガイダンスを開催。各参加診療所がパワーポイントを使用したプレゼンテーションを行い、PRシートを配付した。

参加数 27歯科診療所

10月13日 第2回摂食嚥下研修会を開催し、哺乳・離乳・自食機能の発達とその障害について研修を行った。

受講者 60名

一般社団法人日本学校歯科医会 「学校歯科医生涯研修制度」における基礎研修・更新研修

学校歯科委員会 櫻井 英人

1. 上記研修会が新型コロナウイルスのため、9月13日にオンライン配信で行われ県学校歯科委員が茨歯会館にて参加いたしましたのでご報告いたします。

〈基礎研修〉10時～13時15分

①学校歯科保健の概念：

講師 斉藤秀子 学校歯科医会副会長

②学校歯科保健における教育：

講師 安井利一 明海大学学長

③学校歯科保健における保険管理：

講師 平瀬久義 学校歯科医会理事

④学校歯科保健における組織活動：

講師 柘植紳平 学校歯科医会副会長

〈更新研修〉14時50分～16時

教育関連法規の理解と改定のポイント：

講師 安井利一 明海大学学長

初の試みであるWEBによる研修はどのように進行するのか興味深く参加しました。

当日9時半に会場へ着くと既に鶴屋理事、原田委員長、事務局によってWEB受信のPC設定やスクリーンの準備がバッチリ行われておりました。10時に講義が始まり、話が脱線することなくスムーズにWEB研修が進行していきます。淡々と進んでいきますので少し脇が重くなってきます。その対策の為(?!）、講義の合間に内容のおさらい

小テストが用意されていました。午後の更新研修では、学校での「歯・口の健康づくり」を新しい学習指導要綱に則って整理し、教育課程を通じて「生きる力」を身に付ける支援を考える必要があると学びました。基礎研修、更新研修を通してつつがなく受講し終了となりました。

初めてのWEB研修でしたがとてもスムーズに進行し、特に問題は感じませんでした。

研修終了後、委員で今後の茨城県学校歯科研修にも対応できるだろうかディスカッションをし、研修を終了しました。

追記 健診時のグローブについて～学校歯科委員会からの提案～

同日に行った委員会にて各地区における教育委員会と歯科医師会を取り交わした学校歯科健診に関する新たなルール作りなど今後の参考になるよう細かく一連の流れを話していただきました。まだまだ続く現状で健診をする側、される側のボタンの掛け違いが起きないためにルール作りは必要です。

中でも話題に上がったのが健診時のグローブ交換についてでした。大人数の健診を行う場合、ダブルミラーテクニックで直接児童生徒の口腔内に触れない方法は有効ではあるのですが、ミラーの本数を倍に増やさなければならず費用の面からも実施できる学校とできない学校が出てしまう問題

があります。一方、児童生徒毎のグローブ交換では、脱着動作に時間を要することが悩みとなります。そこで委員会ではインナーグローブの上からアウターグローブを装着し二重にすることで脱着がスムーズに行えること、さらにアウターグローブをポリエチレン素材の大きめのサイズを使用することで費用に関しても健診時の感染対策にもスムーズに対応できるのではないかと考えました。すでに実施されている学校歯科医もおられるかもしれませんが、グローブ交換のスピードや煩雑さで悩んでいる先生は一度試してみてください。





株式会社 岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。



これまでも、これからは、いっしょに
Iwase Dental Supply Inc. 1990-2020



イワセオリジナルユニット
**SIGNO
NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、
ワンランク上のラグジュアリー空間と
心地よさを演出します。

■ 製品名 伊瀬オリジナルユニット
■ 販売店 伊瀬歯科商会 (株) 伊瀬歯科商会
■ 販売店 伊瀬歯科商会 (株) 伊瀬歯科商会
■ 販売店 伊瀬歯科商会 (株) 伊瀬歯科商会
■ 販売店 伊瀬歯科商会 (株) 伊瀬歯科商会

製造販売・製造
株式会社モリタ東京製作所

本社 埼玉県さいたま市中央区上落合2-1-24 TEL: 048-832-1315
伊瀬工場 埼玉県北足利郡伊瀬町小室7129 TEL: 048-723-2021

発売
株式会社モリタ

大阪本社 大阪府吹田市豊水區3-33-18 TEL: 06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL: 03-3834-6161

事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL: 03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL: 028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL: 029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL: 047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL: 043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL: 03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL: 0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL: 024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL: 03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL: 03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小管ヶ谷1-28-9-101	TEL: 045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL: 045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL: 027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL: 027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL: 046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL: 048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL: 019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL: 042-590-5770

医療+管理 委員会 だより

令和2年度歯科医療関係者感染症予防講習会

医療管理委員会 奥田 雅人

令和2年10月4日（日）10：00～12：05 茨城県歯科医師会館で「令和2年度歯科医療関係者感染症予防講習会」が開催されました。

この講習会は歯科医療従事者に対するエイズや肝炎等の感染予防等に関する講習を行い、歯科保健医療の安全の確保を図ることを目的として、厚生労働省が委託、日本歯科医師会が受託、都道府県持ち回りで毎年開かれているものです。

今年度のテーマは「歯科診療に必要な感染予防対策の実情」ということで、大阪労災病院歯科口腔外科部長の吉岡秀郎先生を講師として開かれました。

今年はCOVID-19感染拡大が収まらない中、講師は大阪からweb会議システムを使い、受講生は会館に集まってスクリーンを見ながらのイレギュラーな形で行われました。

受講生はマスク着用、受付では検温、アルコールによる手指消毒、さらに茨城アマビエちゃんの登録など徹底した感染予防対策の下で実施しました。



現在法律によって定められている感染症は以下の5つに分類されます

一類感染症…感染力・重篤度・危険性が極めて高

く、早急な届け出が必要になる

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、天然痘、南米出血熱・ペスト、ラッサ熱

二類感染症…感染力・重篤度・危険性が極めて高

く、早急な届け出が必要になる

急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、SARS、MERS、COVID-19

三類感染症…感染力・重篤度・危険性は高くはないが、集団発生を起こす可能性が高い

ため、早急な届け出が必要になる

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸感染症、腸チフス、パラチフス

四類感染症…人同士の感染はないが、動物・動物を介して人に感染する

ため、早急な届け出が必要になる

ウエストナイル熱、デング熱、A型肝炎等

五類感染症…国家が感染症発生動向の調査を行い、

国民・医療関係者・医療機関に必要な情報を提供・公開し、発生及び蔓延や伝染を防止する必要がある感染症

インフルエンザ、ウイルス性肝炎（A、E型を除く）、後天性免疫不全症候群、風疹、麻疹、梅毒等

感染予防のためには標準予防策（Standard precautions）の徹底実施が必要になります。これによって自分とスタッフ、患者を守ることになります。

結核は、現在でも全国で年間約25,000人が新たに感染、登録されています。喀痰中結核菌陽性者は1万人弱。国内最大の感染症で、決して過去の病気ではありません。

また、梅毒は近年若年層での感染が増加傾向にあることが報道されています。5類の性感染症です。初発感染は届け出が必要です。

歯科で一番悩ましい問題は印象、補綴模型の消毒です。

寒天アルジネートの場合は、0.1%～1%の次亜塩素酸ナトリウム溶液に15～30分浸漬が推奨されています（2007年日本補綴学会指針）120秒以下の水洗ではかえって汚染物が拡散し、また次亜塩素酸ナトリウムの効果も減弱します。

ラバー系の印象剤は流水下で30秒水洗後、1%次亜塩素酸ナトリウム溶液に15～30分浸漬、又は2～3.5%グルタールに30～60分浸漬が推奨されています。

模型の扱いは施設によってさまざま。例えば

施設1 模型を120℃で10分間加熱乾燥

施設2 0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液に10分間浸漬。密閉容器内で1時間放置。さらに技工操作前に塩素中和剤を表面に噴霧

施設3 模型表面にエタノールを十分噴霧

チェアサイドに模型を返却しない施設もあるそうです。

当面COVID-19感染のリスクがゼロになることはないと考えられます。withコロナ時代とされていますが、特にこれから冬を迎えるにあたっての目標として、

- ・重症化しやすい人に感染を伝播させない
- ・クラスターを作らない
- ・濃厚接触者にならない

以上に気を付けながら歯科感染対策を徹底させていく必要があると考えられます。

初めてのオンライン講習会ということで、講師、事務局ともに不安のあるなかの開催となりました。また、受講された先生方にもご不便をおかけしたことと思いますが、今後はこういった形式での開催が増えることを想定しています。





【体験入学】

7月29日（水）、8月19日（水）、9月26日（土）に本校の体験入学が実施されました。

新型コロナウイルス感染対策のため、入り口での参加者の検温、指手消毒、ソーシャルディスタンスの確保を徹底して、開催の運びとなりました。

歯科衛生士科では、歯科衛生士の3大業務である、歯科予防処置・歯科診療補助・歯科保健指導の体験ブースでのスケーリングや印象採得、バキューム操作やブラッシング実習に参加して頂きました。

各ブースでは、3年生の代表者が、説明と参加者の体験実習のサポートを行いました。初めは3年生も参加者も緊張した面持ちでしたが、繰り返すうちに専門用語を分かりやすく伝えるための工夫をしたり、自分たちの体験談を交えて時には、笑いを取る場面も見受けられました。参加者と交流を図りながら和やかな雰囲気を進めることができました。



歯科技工士科では、スライドを用いてクラウンや全部床義歯の製作過程の説明を行ったり、石膏の練和から注入、石膏彫刻、CAD/CAMなどを体験してもらいました。参加者は緊張した面持ちで、一生懸命作業を行っていました。



近年は、高校1、2年生から体験入学に積極的に参加する生徒も多く、自分の進路への関心の高さがうかがえます。

進路選択をする上で歯科衛生士、歯科技工士のイメージが具体的となり、興味を持って頂けたら嬉しく思います。

（文責 川崎 菊池）



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
E-mail jimu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 水戸支部 寺門 由香

最初に勤務した歯科医院は13年間お世話になりました。籠に入って来ていた子供が声変わりをする頃でした。口腔内の変化と共に様々な成長も共有していました。出産を機に退職したのですが、院長先生からいただいた言葉は今でも大切にしています。

職場を離れても歯科衛生士はやめないで欲しい、家庭にいても歯科衛生士なのだから。

どこにいても、どのタイミングで思い出しても当てはまるので忘れずにいたのかも知れません。子育てをしながら、家族に対しても歯科衛生士でした。

今は、障がいを持った方々が受診する歯科に勤務しています。口腔ケアや診療補助をするのですが、先天的な障がいがあったり、定型発達の子供たちとは違った個性を持っていたり、ご家族が障がいの受容を出来ていないこともあるので対応はそれぞれ違ってきます。

後天的な障がいを持つ事になった大人や高齢者とは違い、獲得する所からの関わりなのです。例えば、うがいも自然にいつの間にか出来る事だと思っていたのですが、分解して練習することが必要でした。口を閉じる、水を入れる前に空気だけを溜める、その空気を左右の頬に交互に移動する、など水を口に溜めてうがいをする事や吐き出す事がとても難しい事だったりするのです。

脳トレやひらめき型のクイズが目を引きますが、過去の経験から答えを知っていた事はないでしょうか。私たちは多くの経験や学習をしてたくさんの引出しを持っています。ひらめくというのは幾つかの引き出しを開けることなのでしょう。

たくさんのお逢いがある中で、歯科衛生士は出逢った人に新しい引き出しを作ってあげられる仕事だと思います。これまでに経験したことのない様々な状況の中で、出来る事がある限り私は引き出しを増やしておきたいと思っています。

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルファー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery

令和2年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール 優秀賞作品

中学生の部



奥沢 久瑠実



飯岡 莉々



山崎 陽有

小学生の部



五味渕 葵



新海 奏



鈴木 隆介



飯田 康平



小林 優月

会員数

令和2年9月30日現在

地 区	会員数(前月比)	
日 立	114	-1
珂 北	148	
水 戸	156	
東西茨城	72	
鹿 行	103	
土浦石岡	179	
つくば	136	
県 南	175	+1
県 西	153	
西 南	105	-1
準 会 員	4	
計	1,345	-1

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できません。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,150名
2種会員	74名
終身会員	117名
準会員	4名
合計	1,345名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和2年11月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。